



がんばろう!東北

東北国営公園事務所
Tohoku National Government Park Office

NEWS
RELEASE

復興祈念公園と観光に関する懇談会を開催

東北国営公園事務所では、岩手県及び宮城県、陸前高田市・石巻市と連携し、復興祈念公園及び国営追悼・祈念施設(仮称)の整備を進めています。

このたび、復興祈念公園の観光面での役割や設計上での配慮等について、観光の専門家の方々からご意見を伺う懇談会を開催します。

- 1.日 時 平成 28 年 7 月 27 日 (水) 10:00-12:00
- 2.場 所 TKP仙台カンファレンスセンター 4階 カンファレンスルーム 4A
*別添参照
- 3.内 容 (1)復興祈念公園及び国営追悼・祈念施設、道の駅高田松原について
(2)東北地方における観光の実情について
(3)石巻南浜地区における活動について
(4)懇 談
- 4.取材について 懇談会は公開にて行います。
受付は 9 時 30 分から行います。
取材は担当者の指示に従ってください。

<発表記者會> 岩手県政記者クラブ・宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会

【問 い 合 わ せ 先】

国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所
〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松 53-9
TEL 0224(84)6211 (代) Fax0224-84-6214
担当 調査設計課長 島田 正義(内線 351)
URL www.thr.mlit.go.jp/m-park/

復興祈念公園と観光に関する懇談会について

国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所

1. 趣旨

現在岩手県陸前高田市及び宮城県石巻市において計画されている東日本大震災からの復興祈念公園、及び公園内に整備される国営追悼・祈念施設（仮称）は、犠牲者の追悼、教訓の伝承、復興の象徴を主目的とするものであるが、一方で、すでに陸前高田市の奇跡の一本松に多くの観光客が訪れているように、震災観光の核として地域の活性化にも大きな役割を果たすことが期待されている。

4月に復興庁がまとめた東北観光アドバイザー会議の提言においても、『沿岸被災地域を中心に、東北への訪問を促進することで、東日本大震災とは何か、復興とは何かに触れることができる「学びの場」としての価値が東北にはある。「学びの場」として東北が評価されることで、震災の記憶を後世に伝え、風化を防止することにつながる。』とされており、東北観光振興と復興祈念公園の目的は重なるものである。

しかしながら、これまでの復興祈念公園の検討に当たり、観光の専門家からの意見を聴取する機会はなく、観光面で復興祈念公園がどのような役割を果たすのか、またそういう役割を果たす上で、設計上どういった配慮をすべきかの検討は十分ではない。

そのため、2019年のラグビーワールドカップ及び2020年の東京五輪に合わせた企画展開をも視野に入れ、実施設計にあわせ、観光面から復興祈念公園に期待される役割、機能等について議論するため、関係者からなる懇談会を開催するものである。

2. メンバー

興津 泰則	一般社団法人日本旅行業協会 国内・訪日旅行推進部長
紺野 純一	東北観光振興機構 専務理事 推進本部長
原田 劉 静織	株式会社ランドリーム 代表取締役
藤間 千尋	公益社団法人みらいサポート石巻 理事
涌井 史郎	東京都市大学 教授 (敬称略)
川瀧 弘之	国土交通省 東北地方整備局長
脇阪 隆一	国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所長

3. 開催日時・場所

【日 時】 平成28年7月27日（水）午前10時～12時

【場 所】 TKP仙台カンファレンスセンター4階 カンファレンスルーム4A
〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-2-3 ソララガーデンオフィス4F
TEL：022-200-2614

4. 問い合わせ先

【事務局】 国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所 調査設計課

〒989-1505 宮城県柴田郡川崎町大字小野字二本松53-9 TEL：0224-84-6211
担当：沼田・島田

■会場ご案内図

TKP仙台カンファレンスセンター4階 カンファレンスルーム4A

